

令和4年度第2回 名張市地域公共交通連携協議会 議事概要

日 時 令和5年1月31日(火)

午前9時30分より

場 所 名張市役所 大会議室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

古谷 久人 (薦原コミュニティバス運営委員会 会長)
橋本 智幸 (株式会社メイハン 取締役部長)
福本 房生 (ほっとバス錦運営協議会 会長)
千種 啓義 (緑が丘コミュニティバス運営協議会 会長)
田畑 博 (美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長)
中井 道昭 (国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会 会長)
平岡 祐一 (三重交通株式会社伊賀営業所 所長)
木谷 等 (代理出席、株式会社キタモリ)
谷本 浩司 (名張市都市整備部 部長)

(2) オブザーバー

前葉 光司 (中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官)
内藤 莉菜 (中部運輸局三重運輸支局運輸企画専門官)
福田 富彦 (薦原コミュニティバス運営委員会)
島田 光夫 (美旗地域コミュニティバス運営審議会)
作田 久 (三重交通株式会社伊賀営業所)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室2名

1. 開会

2. 議事

(1) 令和3年度コミュニティバス事業評価及び令和4年度上半期利用状況について

(令和3年度事業評価、上半期利用状況について、資料に基づき事務局より説明)

<上半期の利用状況について、各運営主体の自己評価>

(ナッキー号)

事務局 まず、名張市地域公共交通会議でいただいたご意見として、バス全体を通して、これまでは地域で困っている方の移動手段だったが、地域に来てもらえる手段としても使えるのではないかと。地域資源を地域と一緒に整備し呼び込むという戦略もあるのではないかと。そのためには、そのバスが検索できることが大事である。事務局として、Google マップや経路検索サイトで全コミュニティバスの時刻、経路を掲載している。全国的に令和3年は2年に比べ微増傾向。ところが、コミュニティバスや三重交通などで上向いていないところがあり心配。コ

コロナ禍で他の移動手段に移った、ご高齢の方が体調を崩したといった可能性があるのではないか。各コミュニティバスで経過観察しながら、何らかの手を打っていくべき。

また、上記をふまえた意見として、今後も市街地循環としての機能を維持するとともに、わかりやすい情報提供を行っていきます。また、利用者の利便性の向上のため、新規停留所の設置や商業施設への乗り入れについて検討する。

資料2の上半期の利用者数について、前年度と比べ上半期利用者数は1,509人増加しており、コロナ禍以前の令和元年度の8.7割まで数字が戻ってきている。引き続き感染対策を徹底しながら運行していく。また、待合環境の改善として、商業施設から少し離れたところにある蔵持町原出の停留所に名張近鉄ガスより寄贈いただいたベンチを設置し、買い物客が座ってバスを待つことができるようにした。

(あららぎ号)

事務局 ご意見をふまえた対応としては、利用者が限られていく中、地域ではバス停まで来れない方が増加しており、地域に合わせた運行形態について検討するとともに、効率的な運行となるよう見直しを進めていく。

また、上半期の利用者数は、前年度と比べて80人増加しているのに対して、運賃収入は71,350円で過去最低となっており、運賃免除者の割合が増えてきている。利用者数が限られていく中で、地域の過疎化に拍車がかからないよう、あららぎ号存続に向け今後も運行形態の見直しについて地域と協議を重ねていく。

(ほっとバス錦)

委員 令和3年度は利用者はいい状況ではなく、地域の人口が減少して高齢化が進み、車を運転しない人が増えると思っていましたが、コロナ禍もあり伸びませんでした。現行の運行経費では協賛金を切り崩しながらでも3年ほどで資金不足になるため、キタモリさんに尽力いただき持続可能な運行を現行の便数でできることになった。

令和4年度の上半期については、若干増えてはいますが実績に繋がる数字ではありません。昨年、地域の運動会、文化祭を開催し、徐々にイベント等が戻ってきており、令和5年度からは企画を含め検討していきたい。

(コモコモ号)

オブザーバー 意見をふまえた対応としては、便数の利便性を高めることは費用面で厳しいので、運行路線や運行形態を抜本的に考え直すべきだが、方策が難しい。個別送迎手段の確保が出来れば対応策もあると思われるので、そちらに軸足をおきたい。

令和4年度上半期は、半期利用者が1000人を切った。中断していた協賛金も今年度はお願いして、この先も利用者増加は見込めないの、抜本的な見直しが必要と思われる。

(みどり号)

委員 緑が丘団地としては道路も開通する予定で、ホームセンターが開店するなど利便性は向上している。地域内の人口も増加しているが歩いてちょうどいいところにスーパー等ができたため、バスの利用者は増えない。打開策として道路の開通に合わせ別の商業施設まで延伸し、桔梗が丘駅に向かうルートを検討している。近鉄(桔梗が丘駅)に乗る人も増えていかず、駅周辺の駐車場もバスの往復より安い状況。新ルート(案)は現在の大型バスでは近鉄の高架下を通行するのが難しいため、車両の小型化についても考えていきたい。

(はたっこ号)

オブザーバー 令和3年度は2年度よりも数字が悪化している中で、会議の中で商業施設への行きの手と帰りの便の間が開きすぎるといった意見があり、利用者の方からも同様の意見がある中で、利用頻度が低い便2つを整理し、商業施設からの帰りの便を増やすことを検討している。

令和4年度上半期は前年度より150名ほど増えている。飛躍的に戻るというのは考えられないのではと予想している。このまま横ばいが続くのであれば手立てを考えていきたい。

会 長 ありがとうございます。それでは各コミュニティバスごとに意見や提案を受けたいと思います。いかがでしょうか。

(ナッキー号)

会 長 新規停留所の設置や商業施設への乗り入れを検討されていると聞いていますが、具体的に言えることがあれば教えてください。

事務局 協議はまだ済んでいないので決定ではありませんが、利用者の多い商業施設への乗り入れを検討しています。今年度ベンチを設置しましたが、乗り入れることにより利便性が向上するため、協議を進めていきたいと思っています。また、医療機関への乗り入れも検討しております。

会 長 利用者は便利になると思いますので、ぜひ実現できればと思います。

(あららぎ号)

会 長 地域に合わせた運行形態を検討されていますが、こういったかたちか示せるものはありますか。

事務局 地域と協議をしているところで具体的には決まっていますが、バス停まで来れない人が増えているとお聞きしており、そういった中で地域のニーズに沿った形を検討しておりますので、協議が整い次第ご報告させていただきます。

会 長 デマンドは国津地域だからやりやすく、他の地域では難しいのでしょうか。

事務局 デマンドタクシーなどもありますので、可能ですが、国津地域は自家用有償運送という制度の中で検討する予定です。

会 長 予約をどうするかなど課題はあると思いますが、利用者にとっては便利になると思います。

(ほっとバス錦)

会 長 各協議会で努力はしていただいています。利用者は伸びていかない状況で、発表の中で利用者同士の絆が形成されていたとのことで、コミュニティバスがまちづくりの中の人と人をつなぐ重要な役割を果たしているとも考えられます。

事務局 ほっとバスさんの地域の会議に参加した際に、文化祭でほっとバス錦を巻き込んだものを計画されていまして、今年度の実施の様子等をお伺いしたいです。

委 員 運行当初よりバスへの関心が地域の中でも低くなってきており、イベントや文化祭の際にバスへの関心を少しでも持ってもらう工夫を行っていますが、なかなか増収にはつながらず自家用車の移動に頼ってしまうところ。苦しい中ですが、本当にバスを必要とする人を守っていきたいという思いでやっています。

会 長 コミュニティバスはもともと民間が撤退した所で運行していますから、利益だけでなく、まちづくりの一環としてのツールとしても重要だと思います。

(コモコモ号)

会 長 利用者数が減っている中、利用者の利用状況がどのように変わってきているのか、アフターコロナで戻ってくるのか、戻らないのかということをおまえ、個別の輸送手段も検討していきたいと思っています。利用者のアンケートを取ってみるということも必要かなと思っています。利用者が減っているのがコモコモ号とみどり号で、他は下げ止まっているので商業施設の閉店が大きかったのかなと思います。今、桔梗が丘駅の駅前再開発について考えていくことになっていると耳にしていますので、その辺に期待したいと思いますが、何か情報はありますか。

委 員 桔梗が丘のまちづくり協議会の方で、商業施設跡地を利活用できないかと地域の方で検討会を立ち上げていただきました。また、駅前のロータリー駐車場も今は閉めています、そちらも含めて一体的に考えていきたいということで今後定期的に市も交えて情報交換をしていくということでスタートしたばかりです。ただ、近鉄さんの施設ですのでそちらとも協議していく必要があるかと思っています。

委 員 今は皆さんどこで買い物されているのでしょうか。他の買い物施設の近くには停まっていますか。

会 長 近隣にバス停があります。

事務局 同じ桔梗が丘駅に接続するはたっこ号は利用者が減っていないので、商業施設への乗り入れの乗り入れが一因となっているのか、何か協議会さんの方でお考えはありますか。

オブザーバー 乗り入れ後、段々と周知されスーパーで降りる方は増加しています。ただ、桔梗が丘駅で降りられる方が圧倒的に多いです。利用者が増えた要因は商業施設乗り入れだけではないのかなと思います。美旗の中では駅の利用が1番で、2、3番目に商業施設となっています。

(みどり号)

会 長 道路の開通に合わせ、車両の小型化を検討されるとのことですか。

委 員 今の運用だと三重交通の桔梗が丘循環と車両が同じなので大きい車両での運行になっています。今の利用状況を見ても小型車両（ハイエース）で十分で、それだと近鉄の高架下を通行できますので、その件も含め三重交通さんと協議をしています。

会 長 三重交通さんにお聞きしますが、今のみどり号とコモコモ号は併用しているのでしょうか。

オブザーバー 収支の圧迫されているところになりますが、車両も路線の合間を縫って交互に運行しています。多種多様な車両を所有していますが、中型と小型は値段的にあまり変わらない中で、ハイエースが有効活用できるようなものであれば導入、サイズダウンができればと思いますが、運賃箱、ICカード利用に課題があります。

会 長 もし可能ならコモコモ号もハイエースタイプでの運行を考えたいですね。

オブザーバー 車両の併用は場所、時間的に厳しいですが。

委 員 団塊の世代がまだまだ元気で、みどり号の利用者数は桔梗が丘駅の商業施設によるものでも大きいので、新たな商業施設への乗り入れは真剣に考えないといけません。

(はたっこ号)

会 長 はたっこ号は市の北部を運行し、近鉄やナッキー号への接続がありますので利用も下げ止まっているのかなと思います。今後とも今の利用をおまえた便数の検討が有効に働くかと思っています。

事務局 はたっこ号さんの運賃免除者数が今年多かったので、何か要因を掴まれていますか。

オブザーバー 美旗は福祉施設が多くあり、同じ方が重複して利用されています。また、付き添いの方も無料になるので、それで利用される方も多いです。

会 長 他の委員さんから何かございますか。

委 員 話題にもなっていました赤坂夏秋橋線ですが、着手が遅れておりましたが、暫定供用というかたちで今春に開通します。近鉄のガード下については、近鉄との協議では、前後が仕上がった最終工程としてやり替えるというかたちで進んでおりますので、先の長い話になるかもしれませんが、完成断面に向けて進めてまいりたいと思います。

3. その他

- ・コミュニティバスの変更について

(事務局より資料に基づき説明)

- ・名張市地域公共交通計画(案)について

(事務局より説明)

会 長 その他の事項について、ご質問等がございますか。特に無いようですので、以上をもちまして第2回名張市地域公共交通連携協議会は終了とさせていただきます。ありがとうございました。